

## 米国核セキュリティ・サミット コミュニケ【骨子】

### （核セキュリティ・サミットの成果）

- 核セキュリティ・サミットが世界における核・放射線テロの脅威に関する認識を向上させ、核セキュリティにおける具体的、効果的、長期的な改善を促進してきたことを賞賛。
- 核物質防護条約・同条約改正及び核テロ防止条約の重要性を強調、核物質防護条約改正の早期発効のための更なる締約国の増加を奨励。

### （国家の基本的責任・取組）

- 核軍縮、核不拡散、原子力の平和的利用の目標に向けたコミットメントを再確認。
- 核兵器に使用されるものを含む全ての核物質・放射性物質及び原子力関連施設の核セキュリティを維持する国家の根本的責任を再確認。
- 非国家主体による核物質や放射性物質の入手を阻止するための取組の必要性を強調。
- 核セキュリティを各国における永続的な優先課題とし続け、国レベルの核セキュリティに対する信頼醸成の強化を決意。

### （国際協力・IAEAの主導的役割）

- 核・放射性物質を用いたテロの対策における情報共有を含む国際協力の必要性を強調。
- セキュリティ分野における国際原子力機関（IAEA）の重要な責任と主導的役割を再確認。
- IAEAによる定期的なハイレベルの国際会議の実施を支持。
- サミット・プロセスを支えてきた政府関係者・専門家の国際ネットワークの維持、より広範な国々を取り込み、原子力産業界及び市民社会の継続した関与を奨励。

### （行動計画）

- 政治的モメンタムの確保及び核セキュリティの継続的な強化のため、関係国際機関及び枠組みにおける行動計画の実施を決定。

### （サミット終了後の取組）

- 今次サミットをもって現行の形式による核セキュリティ・サミットは終了するが、これまでのサミットの成果は、今後の核セキュリティに関する取組の指針となることを確認。

（了）